

令和2年度 鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく

合同点検対策箇所図（板東小学校1）

※対策状況については R3.1.31 現在

⑧横断歩道が薄れており見えにくくなっている。
朝夕ともに交通量が多く、児童も多く利用することから危険性が高い。

〈対策内容〉

- ・PTAによる交通指導と、児童への注意喚起と安全指導を継続する。 ☆継続
- ・横断歩道、停止線など路面標示の塗り直しを上申する。 ☆完了



④児童クラブ利用の児童が多数通る。停止線を少し下げて踏み切りより離してほしい。

〈対策内容〉

- ・児童への安全指導を継続する。 ☆継続
- ・停止線の引き直しについて、市土木課がJR四国と協議し、停止線を踏切より離して塗り直す。 ☆予定



⑨側溝の蓋が破損して少し沈んでいる箇所や隙間が大きく、児童がつまづきやすいところがある。

〈対策内容〉

- ・破損した蓋は交換し、隙間については間詰め等を設置することにより対応する。 ☆完了



③線路脇の側溝がむき出しになっている。停止線が薄くなっている。

〈対策内容〉

- ・児童への安全指導を継続する。 ☆継続
- ・側溝に沿ってグリーンラインの敷設を行う。 ☆予定
- ・停止線の引き直しについて、市土木課がJR四国と協議し、停止線を踏切より離して塗り直す。 ☆予定



⑤道幅が狭く、見通しが悪い。児童クラブへ行く児童が多数通る。停止線が薄くなっている。

〈対策内容〉

- ・カーブミラーを追加設置する。 ☆完了
- ・薄くなった停止線を塗り直す。 ☆予定



令和2年度 鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく

合同点検対策箇所図（板東小学校2）

※対策状況については R3,1,31 現在

- ⑦ドイツ館を出て反対車線側に横断歩道を渡ると、その後の道は歩道がなく狭いため危険である。横断歩道を渡らず歩道がある方を歩くとその後に横断歩道がなく、道路を横断することになる。
- 〈対策内容〉
- ・ドイツ館前横断歩道と接近（約155m）しており、またトンネル出口にもなるため、設置条件に合致しない。 ☆現状
 - ・ドイツ館前横断歩道の塗り直しを上申する。 ☆完了



- ⑩PTAの立哨当番箇所ではあるが、信号待ちの児童の間近を速度の速い車が通り過ぎるため危険である。
- 〈対策内容〉
- ・PTAによる交通指導と児童生徒への安全指導の継続する。 ☆継続
 - ・歩行者停止線をカラー標示で設置する。 ☆予定



- ①交通量が多く危険である。南北方向の青信号時間が短い。
- 〈対策内容〉
- ・PTAによる交通指導を継続する。 ☆継続
 - ・児童生徒への安全指導児童への注意喚起と安全指導を継続する。 ☆継続



- ⑥交通量が多く危険である。一時停止等の標示が薄くなっている箇所がある。
- 〈対策内容〉
- ・横断歩道、停止線、とまれ標示の塗り直しを上申する。 ☆完了



- ②道幅が狭く、交通量が朝夕ともに非常に多い。信号待ちをするスペースも狭く、危険性が高い。
- 〈対策内容〉
- ・交差点内側にオレンジポール2本を設置し、自転車が安全に待機できるスペースを確保する。 ☆予定

